

うさぎのマークのランドセル
早期割引販売・予約受付中
大隈カバン店
福岡・天神・新天町・博多店・北九州店・博多駅前地下店

暮らしプラス

西日本新聞

夕刊

発行所 西日本新聞社 〒810-0721 福岡県中央区天神1丁目4番1号 ☎092(711)555546

2014年(平成26年) 7月16日(水曜日)

川内原発 新基準「合格」

福島事故後の第1号

規制委が「審査書案」決定

原子力規制委員会は16日、再稼働の前提となる審査を優先している九州電力川内原発1、2号機(鹿児島県薩摩川内市)について、新規規制基準を満たしているとする「審査書案」を決定した。30日間の意見公募を経て正式な審査書を完成させる。審査を申請している9電力会社の12原発(19基)の中で、新基準に適合するのは初めて。ただ、機器の耐震設計などを確認する審査が残っており、審査終了後には地元了解も必要になるため、再稼働は10月以降になる見通しだ。【9面に関連記事】

再稼働は10月以降に

東京電力福島第1原発事故を教訓にした新規規制基準が施行されて約1年。安倍晋三政権が「重要なベースロード電源」と位置付ける原発の再稼働問題は、新たな局面を迎える。九電は昨年7月8日の新規規制基準施行当日に審査を申請。62回の審査を反映し、規制委が地震津波対策や火山対策などを約420ページにわたる審査書案を提出した。



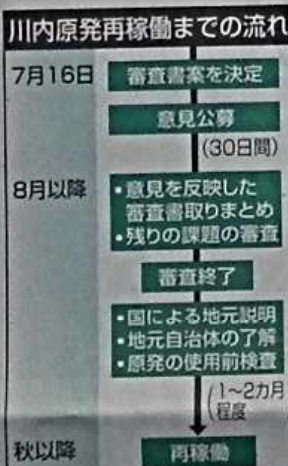
九州電力川内原発1、2号機の審査書案を了承した原子力規制委で発言する田中俊一委員長(右から2人目) =16日午前、東京都港区

川内原発の審査書案

- ▶大型航空機の衝突などのテロを想定
- ▶最大風速100mの電巻を想定。飛来物発生防止対策を実施
- ▶巨大噴火に伴う大気流の影響は運転期間中、十分小さいと評価
- ▶耐震設計の目安となる地震の揺れ「基準地震動」は最大加速度620ガル
- ▶電源車
- ▶全電源喪失や炉心溶融など過酷事故に備え、電源車や消防車、放水砲などを配備
- ▶想定される津波の高さは最大約6m。海水ポンプエリアに防護壁を設置

審査書案
原発の基本的な設計方針や安全対策を書いた「設置変更」の申請書が、新規規制基準を満たしている根拠をまとめた文書。原子力規制委員会の審査を踏まえた審査終了証の原案になる。審査書が確定すれば、規制委が電力会社に設置変更許可を出す。東京電力福島第1原発事故の反省から策定された新規

制基準は、原発から放射性物質が放出される過酷事故対策を義務付けたほか、地震や津波対策も厳格化し、火山の影響評価と対策も初めて盛り込んだ。再稼働には、機器の耐震設計を記した工事計画認可と、運転や事故時の対応手順を定める「保安規定認可」の二つの認可も必要。



「安全確保に万全を期す」
九電がコメント
原子力規制委員会が川内原発1、2号機について新規規制基準を満たしているとする「審査書案」を公表したのをめぐり、九州電力は当社としては今後とも、原子力規制委員会の審査に真摯かつ丁寧に対応するとともに、さらなる安全性・信頼性向上への取り組みを自主的かつ継続的に進め、原発の安全確保に万全を期していく」とのコメントを発表した。

あすの天気

週間天気

川内原発の審査書案決定

「経済活気」「理解できぬ」

再稼働“合格”に賛否



原子力規制委が入るビル前で、川内原発の審査書案に抗議する人たち 11月16日午前、東京都港区

原子力規制委員会が16日、九州電力川内原発(鹿児島県薩摩川内市)の「審査書案」を決定した。

再稼働の前提となる「合格証」の原案に相当するだけに、薩摩川内市の地元業者や経済界からは「経済が活気づく」と期待の声が上がった。一方、脱原発の市民団体は「住民の不安と疑問に答えていない」と強く反発した。

■地元

「こんなにうれしい日はない」。薩摩川内市で民宿経営の御幸博文さん(61)は笑顔を見せた。原発停止が長引き、経済が低迷した街を「死んでいる状態」と感じてきた。規制委の審査開始か

ら約1年。再稼働の見通しが強まったことに「国が認めたのだからスムーズに再稼働してほしい」と求める。

一方、地元の脱原発団体の「さよなら原発いのちの会」の堀切時子代表(66)は「福島に何も学ばず、川内原発の問題点も何も解決してい

ない。どうしたら再稼働のゴーサインが出せるのか理解できない」と反発。会の市民アンケートでは、再稼働反対の声が多数寄せられたといい、「子どもたちのためにも再稼働を阻止したい」と力を込めた。

■東京

東京都港区の規制委が入るビル前にはこの日、再稼働に慎重な市民約50人が集まり、疑問の声を上げた。

経済産業省前のテントで原発反対の座り込みを続けている市民団体代表、淵上太郎さん(71)も駆けつけ「原発の安全を担保するのは規制委なのか、政府なのか。それをあいまいにしたまま再稼働しようとしている」と批判。東京都小平市の主婦、山本恵子さん(81)は「原発も集団的自衛権も同じだが、安倍晋三首相はリスクを一切説明していな

い」と憤った。

■経済界

九州の経済界は審査書案の決定を歓迎した。九州商工会議所連合会の末吉紀雄会長(福岡商工会議所会頭)は「残る審査や地元同意の手続きを速やかに進め、国の責任で早期に再稼働することを期待する」との談話を発表。「中小企業は一層の節電は難しく、電気料金の値上げ分も価格などに転嫁できない」と再稼働の必要性を強調した。九州経済同友会の石原進代表委員は「川内原発以外の原発も迅速に審査してほしい」と規制委に要望した。(上野和重、前田淳、永松英一郎)